

令和 3 年度 霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）

1 目的

ニッコウキスゲ等の貴重な高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において八島ヶ原湿原やニッコウキスゲの群生地には防鹿電気柵等を設置する。

設置場所	設置時期	概要	設置主体
インターチェンジ前園地	令和 2 年 5 月上旬	電気柵 約 2.0km	下桑原牧野農業協同組合
忘れじの丘	令和 2 年 5 月上旬	電気柵 約 0.6km	下桑原牧野農業協同組合
車山地区	令和 2 年 5 月上旬	電気柵 約 4.6km	車山高原観光協会
車山肩地区	令和 2 年 5 月上旬 (10 月中旬撤去予定)	電気柵 約 2.5km 〔うち 0.4km は 丈の低い二重柵〕	霧ヶ峰自然環境保全協議会
富士見台西側	令和 2 年 5 月中旬 (10 月下旬撤去予定)	電気柵 約 0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
八島ヶ原湿原	常 設	鋼鉄柵 約 4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約 9.9km 鋼鉄柵 約 4.0km 計 約 13.9km	

2 令和 2 年度の状況

電気柵設置場所においては、ニッコウキスゲ等の開花が見られ、ニホンジカの食害等を防止する効果が確認されている。特に、車山肩東側では、電気柵の設置に加えて優占種であるニッコウザサの刈取を継続して実施したことにより、かなりの密度でニッコウキスゲが開花し、多くの観光客に楽しんでいただくことができた。また、車山肩地区の一部では、丈の低い二重の電気柵を設置し、観光客の写真撮影等に配慮した。

八島ヶ原湿原に設置している常設の鋼鉄柵は、霧ヶ峰自然保護センターが月 1 回の頻度で巡回を行い、必要な補修等を実施することにより、その機能の維持に努めた。

また、霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合により、「車山肩地区」西側の電気柵を約 400m 延長し、設置面積の拡張及び延長した柵内の全面草刈りを行った。

3 今後の取組

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、電気柵等の設置を継続していく。

ただし、車山肩奥の防護ネットについては十分な効果が得られていないため設置はせず、令和 2 年度から引き続き撤去作業を続ける方向で検討したい。

また、下桑原牧野農業協同組合が設置していた「忘れじの丘」の電気柵について、ニッコウキスゲ等の開花がほとんど見られず、十分な効果が得られていないため、設置しない方針。

霧ヶ峰における電気柵等の設置位置図(令和3年度)

